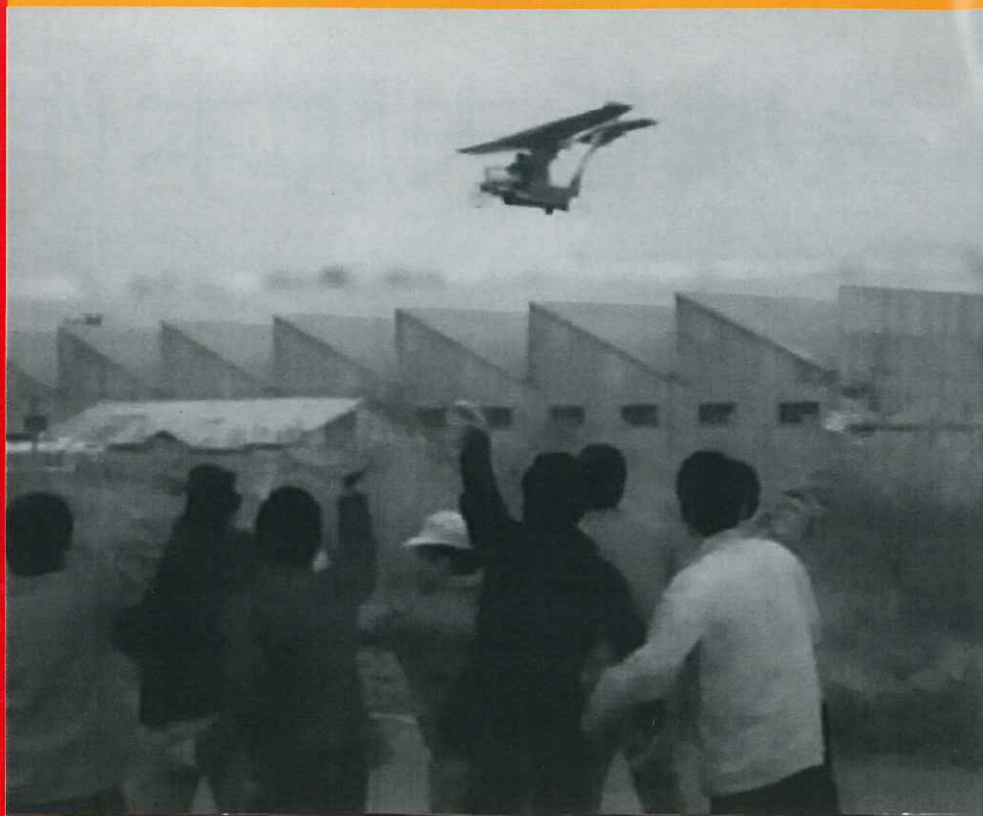


# 翼あれば

金城哲夫脚本作品



## 金城哲夫脚本作品「翼あれば」上映会

同時上映「帰ってきたウルトラマン」

第11話『毒ガス怪獣出現』

日程：平成26年9月27日(土)

時間：第1回 午前10:00～午後12:00

第2回 午後3:00～午後5:00

※入場は30分前からとなっております。

場所：南風原町立中央公民館 黄金ホール  
沖縄県島尻郡南風原町字喜屋武236番地

入場：無料

南風原町にゆかりのある「金城哲夫」氏。彼は『吉屋チルー物語』をはじめとする沖縄歴史物語や、子供達に夢を与えた『ウルトラマンシリーズ』など数多くの脚本を手がけ、37歳という若さでその短い生涯を閉じました。哲夫氏の手がけた作品は今でも多くの人に愛され、南風原町字津嘉山にある資料館には全国からたくさんのファンが足を運び彼を偲んでいます。今回の上映会では、夢を追いかける男のロマンを描いた「翼あれば」と哲夫氏最後の特撮作品「毒ガス怪獣出現」を上映します。金城哲夫氏の世界観にご期待ください。



お問い合わせ：一般社団法人 南風原町観光協会

TEL 098-851-7273

# 金城哲夫脚本作品上映会

## 「翼あれば」(1967年)

監督 円谷 一 脚本 金城 哲夫

出演 青島 幸雄、小出 明子、石橋エータロー、下元 勉 ほか

1967年2月26日、「泣いてたまるか」シリーズ第35話として放送。大学の研究員である荻原茶太郎(青島幸男)は、妻の父親の関係で助教授の席も間近なのに、専門である流体力学の研究もせず、人力飛行機を飛ばすことに熱中している。周囲からは「子供じみた研究」と馬鹿にされながらも「大昔から人間は自分の力だけで空を飛ぶことを夢見ていながらいまだに人力飛行機を完成させていないんです。少なくとも僕はその人類の夢に挑戦しているつもりです。」と茶太郎は夢を追いかけることを諦めない、熱いロマンと情熱を持ち続けた男のストーリー。茶太郎は夢を叶え、大空を舞うことができるのか。



©円谷プロ

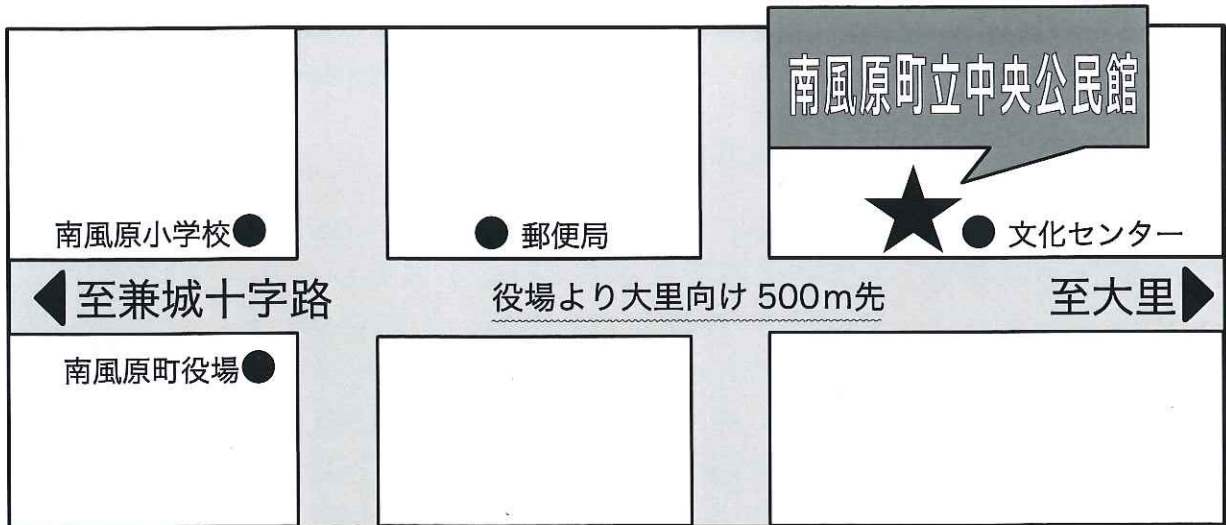
## 帰ってきたウルトラマン

### 第11話 「毒ガス怪獣出現」(1971年)

監督 鍛冶 昇 特殊技術 高野 宏一 脚本 金城 哲夫

出演 団 時郎、岸田 森、榊原 るみ ほか

映画のロケ隊が撮影現場で遭難した。イエローガスを吸い込んだことが原因だと聞き、岸田隊員は戦慄する。それは岸田の父が開発に関わった、旧日本軍の秘密兵器だったのである。極秘裏に廃棄されたはずのイエローガスのカプセルを怪獣モグネズンが食べ、ガスを吐き出していたのだ。岸田は単身、モグネズン退治に向かう。



※観覧は無料となっておりますが、満席の際は入場をお断りさせていただくことがあります。ご了承ください。

※上映会観覧者にアンケートの記入をお願いしております。お手数ではございますが、ご協力お願い致します。